

## 令和元年度 第18回「まちづくり会議」概要 館畑地区

日 時：令和元年9月26日（木） 19：30～20：50

場 所：館畑公民館

参加団体等：館畑町会長協議会、鶴来民児協 館畑地区協議会、壮年会、明和会、安全協会館畑支部、子ども育成会、館畑じょんがら普及振興会、館畑公民館長、白山市町会連合会理事など

### 発言【1】

①未満児保育に対する支援について

②学校の特別教室の空調設備の設置について

#### 【市】

①10月からの幼児教育・保育の無償化により、3歳未満児につきましては、住民税非課税世帯は無償化となりました。住民税課税世帯では引き続き保育料を負担していただくこととなります。ただし、第2子以降の多子世帯には軽減制度があります。全ての子どもの保育が無償化されるよう国に要望してまいります。

②特別教室については、文部科学省の補助を受けて計画的に実施していく予定です。

### 発言【2】

市民協働のまちづくりの観点から、公民館の市長部局への移管について

#### 【市】

市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。地域の社会教育活動を推進する公民館を、この新しい地域コミュニティ組織の拠点施設として活用するかどうかも含め、令和4年度の本格実施までに関係部署と協議しながら検討してまいります。

### 発言【3】

「館畑じょんがら」「館畑探検隊」の取り組みと普及活動について

#### 【市】

市民提案型まちづくり支援事業や自主的に新たな事業に取り組むことが、まちづくりの一つの原点と考えています。

新しい工夫または発展性がある事業として、支援制度の補助金を交付限度の3回

まで受けたことを踏まえ、今後も、事業の見直しを行いながら、地域の特色を生かした魅力ある地域づくりを目指した継続的な活動を行っていただきたいと思っています。

市といたしましても、「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めており、住民と行政が互いの立場と役割を尊重し、相互の力を発揮しながら「市民協働で創るまちづくり」に取り組んでまいります。

#### 発言【4】

①公立病院の再編成について

②お寺や神社にまつわる郷土の歴史を学ぶことへの支援について

#### 【市】

①白山石川医療企業団では、公立松任石川中央病院は急性期医療機関、公立つるぎ病院は回復期・療養型医療機関として、それぞれ役割を分担しながら一体的に運営を行っており、再編や統合の対象にはならないと考えています。

②郷土の歴史を正確に伝えながら守っていくことは、大事なことであると思っています。

市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めており、その中で地域で取り組むことも考えていただければと思っています。

#### 発言【5】

①サイクリングフェスタの中止について

②国道360号線のトンネルの建設について

#### 【市】

①サイクリングフェスタにつきましては、北陸放送(株)をはじめ、市内関係団体（交通安全推進隊、スポーツ推進委員協議会、食生活改善推進協議会）、白山野々市建設業協会、地元町内会等の協力のもと実施してまいりました。

小さいお子さんから高齢の方までが参加されるイベントのため、安全を優先して実施することを重要視しています。そのため、天候の良しあしがイベントの開催に大きく影響します。近年は、3年連続の雨天中止により、物販における負担が生じ、また市内の関係団体からは、ウルトラマラソン等のイベントが続くことに対して、人数の確保等に大きな負担を感じているとの声も出ていました。

これらの問題に対応するため、今年度からはコンパクトなウォーキングイベントなどを開催することといたしましたので、ご理解をお願いいたします。

②トンネルの建設につきましては、国立公園内を通るということで環境問題が課題になりますが、今後とも国道360号整備促進期成同盟会を通して、要望を続けていきたいと考えています。

## 発言【6】

①小中学校の運動会の日程の見直しについて

②ジオパークに関連した「民俗資料館」と「砂防科学館」の整備と新たな企画について

③屋外で遊べる施設の充実について

### 【市】

①運動会の日程は、猛暑対策のほか、他の行事や大会日程を考慮して決定していますが、日程の見直しが可能かどうか今後検討してまいりたいと考えています。

②ジオパークは、大地の遺産の保護とその活用を目的とする自然公園です。

市内全域が白山手取川ジオパークとして日本ジオパークに認定されており、市では、世界認定への3回目の挑戦に向け、市内全域で教育や地域振興に活用するなどジオパーク活動に取り組んでいます。

白山手取川ジオパーク推進協議会と石川県立白山ろく民俗資料館では、放課後児童クラブを対象とした体験プログラム「山の子になろう」を共催プログラムで実施しており、今後、伝統的建造物群や化石事業等の文化財普及事業との連携や新しいプログラムを加えるなど、工夫したいと考えています。

また、砂防科学館につきましては、国土交通省に対し、施設のリニューアルの際に白山手取川ジオパークの展示コーナーなどを設けていただくよう、積極的に働きかけてまいります。

③市では、保育所や放課後児童クラブへの入所希望者が増えていることから、これらの施設整備に優先的に取り組んでおり、屋外の遊戯施設の整備は、今後の検討課題と考えています。

なお、市長就任以来、子育て世代の皆さんより、多くの要望をいただいている子ども向け屋内遊具施設につきましては、白山総合車両所周辺の観光活用策を検討する自民党プロジェクトチームから、北陸新幹線白山総合車両所の見学施設「ビクターセンター」に併設することが発表されています。多くの子供達にも鉄道に興味を持ってもらえるよう、施設の規模や内容について関係機関と検討してまいります。